

2016年2月15日
京成電鉄株式会社

「人と環境に優しい鉄道」を目指して

「3031編成（6両）」

2月15日（月）営業運転開始

京成電鉄(本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生)では、新造車両である3031編成(6両)の営業運転を2016年2月15日より開始いたしました。

この車両は「人と環境に優しい鉄道」をコンセプトに、2003年から導入している3000形車両です。

車両の軽量化等による使用電力の削減、冷房装置・制御装置・補助電源装置にオゾン層を破壊しない冷媒の採用、全車両の車内照明にLEDの採用等、環境保全に配慮するとともに、2010年よりバリアフリーに配慮し、LCD(液晶)の車内案内表示器を採用しています。今年度導入する編成では、お客様にとってより見やすい案内表示を目指して、車内案内表示器の画面サイズを従来の15インチから17インチに拡大しました(写真左上)。

なお、3月上旬には、さらに1編成、新造車両3032編成が営業運転開始の予定です。



2月15日(月) より営業運転を開始した3031編成